

NIE実践指定 県内新規7校

日本新聞協会は8日、学校の授業など教育現場で新聞を活用する「NIE」（教育に新聞を）の、2020年度実践指定校535校

（前年度から10校減）を発表した。

本県からは黄金小（鶴岡市）白岩小（寒河江市）真

室川小（真室川町）酒田二中（酒田市）山辺中（山辺町）米沢東高（米沢市）左沢高（大江町）の7校（いずれも新規指定校）が選ばれた。全国の実践校の内訳

は、小学校219校、中学校174校、高校118校、小中連携4校、中高連携11校、特別支援学校9校。実践期間は原則2年間で、20年度からの新規指定校は227校、継続指定校は308校。協会と各新聞社が購読料を補助し、指定校は授業の中で幅広く新聞を活用する。

協会とは別に17道府県のNIE推進協議会が小中高校など58校を独自に認定した。

今年のNIE全国大会は11月に東京都で開かれる予定。